



ゆざ

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

No.143

12月定例議会号

平成31年2月1日発行

議会だより



12月定例会

- まちづくり政策提言 P. 2~3
- 2億7,100万円を増額 30年度補正予算 P. 4~6
- 町政を問う 一般質問 (7人登壇) P. 7~11
- 「町民と議会の懇談会」報告 P. 12~14
- 12月定例会の議案結果・傍聴者数 P. 15
- 庁舎建設に関する調査特別委員会報告 P. 16~17
- 議会クイズ・編集室より P. 18

つむしを紡ぐ施策を

り6項目 議会の政策提言を提出

29年12月の政策提案を検証し
これからの課題を整理し提出

4 自然と共生した まちづくり

- ・ 高速道路の早期開通
- ・ 家庭ごみの減量対策
- ・ 岩石採取訴訟の情報開示



5 自然・文化の保全と 教育環境整備

- ・ 観光客受け入れ対策整備
- ・ アマハゲ行事の保存継承に支援を
- ・ 小学校統合には丁寧な説明を



6 地域での 見守り・支え合い

- ・ 地区集落活動への支援



エフロンサービス ニュース お互いが「困った、手助けしてほしい」と言いあえる 地区づくりを目指します。	第5号 2018.11.1発行 西遊佐地区 まちづくりの会 TEL 0234-75-3622 (不定期発行物)
「エフロンサービス」とは、高齢者のちょっとした困りごとを手助けする 西遊佐地区住民によるホームヘルプサービスです。	こんな時には ～もうすぐ～ 今年の冬は雪が多いかな～と先になりますね。雪 かきや石割つめなど、高齢者にとってはちょっと 大変な季節です。 遠征先で行っている「雪かき応援隊」もあり ますが、自分（達）だけでは大変だという時 には、エフロンサービスにお電話ください。 エフロンサービスでは、何事をお助けだけでなく、 その人にあった相談支援を一緒に考えます。どんな 小さなことでも「ちょっと困ったな」と思ったら、 ご連絡ください。
サポーター登録状況 エフロンサービスのサポーター登録者は、 10月末現在36名になりました。	お知らせ エフロンサービスの発行「地域専門スタッフ 西遊佐まちづくりセンター」に配布します。 発行予定日：18年12月1日～ 毎週 水曜日 9時00分～11時30分 全曜日 13時30分～16時30分



町長に提言書を提出

くら まちづく

※詳しくは、議会HPまたは各まちづくりセンターに資料があります

1 地域産業の育成と支援

- ・各産業後継者不足対策と、起業者支援
- ・農水産物の販路拡大支援
- ・食の拠点を推進



2 若者が住みやすい まちづくり

- ・住宅建設、リフォーム、
移住者支援の継続
- ・世代間近居型住宅で空き家対策



3 福祉の充実

- ・放課後の児童を見守る施策
- ・交通弱者対策と市町を越えた
広域交通体系
- ・地域支え合い体制への支援



30年度 一般会計補正予算(第3号)

予算 質疑 あれこれ

若者向け住宅建設を民間活力で 建築や地盤改良に支援

2億7,100万円増額し 総額90億2,200万円に

補正予算審査

特別委員会

- 委員長 菅原 和幸
- 副委員長 齋藤 武

補正の ポイント



住宅

住宅建設に@200万円×10棟
2,000万円
地盤改良に@130万円×10棟
1,300万円

学校施設

小学校教室にエアコン
1億7,000万円
中学校教室にエアコン 4,300万円

松くい虫

伐倒駆除 3,590万円

子どもセンター 改善の考えは

齋藤 武委員

子どもセンターの修繕費は、手狭によるものが原因で発生したのではないかと心配した。この機会にセンター内の学童保育スペースの狭隘状況を、増築等によって改善する考えはないか。

健康福祉課長

今回の補正は、台風の影響と思われるガラス窓一カ所のヒビ割れによる交換と、冷水器ボタンの修繕である。

30年度の学童保育ほかかぼかクラブの登録児童数は70人であるが、平日の利用は30人程度と聞い



町民の足となるデマンドタクシー

広域的な 公共交通網を

松永 裕美委員

高齢となり免許証を返納した町民の足となるデマンドタクシーは必要であると考える。

ている。長期休暇時など人数が多いときは集会所を開放しており、現時点では増築等については考えていない。

産業課長

デマンドタクシーの利用者は主に高齢者の方々で、一日平均約45人の利用があり、継続していきたい。

また、一人で乗り降りが大変な方には、福祉タクシー制度等を利用して

交通弱者に対する町の公共交通網のこれからについて、しっかりと考える時期にきているのでは。

いただきたい。
酒田市等と本町を結ぶ
公共交通手段については、
広域的な課題でもあるの
で引き続き他市町と連携
して検討していきたい。

旧産直施設 八福神の今後は

筒井 義昭 委員

問 旧産直施設の31年度

からの活用に向け事前準備として、設計管理委託料や設備機器賃借料が補正計上されている。
具体的な活用計画は。

産業課長

答 町特産品の加工団体から加工所利用の要望があったことから、施設の一部を加工所として整備するもので、貸加工所2



加工品が満載 遊佐町特産便

室、共同加工所2室、他に食品庫、包装室等の整備を計画している。

今回の補正は、31年度の改修工事に向けての設計管理委託料と、施設内の厨房機器等の一部の賃借料を計上したものである。

トイレは観光地にとつて重要

土門 勝子 委員

問 十六羅漢は、観光・食の施設であるが、公衆トイレは昨今にそぐわない和式である。

高齢者に人気のラーメン店もあり、心地よい観光をしていたくためにも、早急に洋式に変えるべきである。

企画課長

答 観光施設の改修については、施設の維持管理のため大規模な補修を計画的に行うことにより、施設の長期利用と観光客

への良好な環境を提供している。

観光地のトイレは、観光客へ与える印象が特に強いと考えられるので、振興計画を踏まえて優先順位を検討し、計画的に整備を進めていきたい。

説明なしに 支援金の大幅増額

高橋 冠治 委員

問 若者向け賃貸住宅新築支援金は、一戸建は最大170万円だったが、新たに地盤改良工事補助金130万円など加算され330万円、51・5%の大幅な増額になった。

説明ないまま予算化したのは議会軽視では。

地域生活課長

答 アパート本体の建設費や地盤軟弱のため杭基礎工事が必要とすることから事業コストが割高となった。

このため民間の協力を得て、事業を進めていく



若者向け住宅地造成

職人魂で 若者住宅を

阿部 満吉 委員

方針に転換したい。
支援金は、賃貸住宅新築支援金に加え、地盤改良工事への補助も行いたい。
議会への説明は、今後十分配慮したい。

問 若者向け住宅建設予定地の地盤が軟弱なことから、説明もそこそこの民間活力による戸建ての Apart 建設に転換した。想定される8〜10棟は町内の大工さんが腕を競う「モデルハウス」にしては。

企画課長

〔答〕 民間事業者が町有地を長期に貸し付けることにより、町が建設予定だった若者町営住宅に沿った賃貸住宅を建設していただく。

公募型プロポーザル方式で募集する住宅は、戸建ての賃貸住宅で約20坪

以上の住宅になる。若者が住みやすい住宅を希望する。

※プロポーザル方式：建築物の事業者を選定する際に、複数の者に企画を提案してもらい、その中からもっとも適した事業者を選ぶ方式



鮭放流間近か 元気に帰って来いよ

鮭人工ふ化事業 振興支援充実を

佐藤 智則 委員

〔問〕 鮭ふ化事業の歴史は古く、今後も育てる漁業資源確保の観点からも鮭のふ化事業は重要である。月光川水系には3つのふ化場があり、その事業実績は評価されている。町の振興支援充実を。

産業課長

〔答〕 今回の支援制度は、町の鮭人工ふ化事業に取り組む事業者が、施設の新設、移設、更新を行った場合に課税される固定資産税の8割に相当する額を10年間支援する制度であり、施設更新後の事業経営の安定化を図ろうとするものである。

鮭の人工ふ化事業は、町の重要な水産業の一つでもあり、引き続き支援に努めていきたい。

松くい虫防除

斎藤 弥志夫 委員

〔問〕 補正額3千590万円のうち町費3千190万円、県費400万円で国の支出金はゼロである。松くい虫対策の予算は町が圧倒的に多く、国の支出金をより多く獲得できるように要求すべきである。

産業課長

〔答〕 松くい被害木の伐倒事業は、27年度まで国庫補助事業である衛生伐が適用になっていたが、被害率が増加し国の補助要綱に合致しない状況になり、28年度から適用外となった。

被害率の減少により、31年度から衛生伐が再び適用になる予定である。

今後、国に補助事業の採択等について要望していきたい。

※衛生伐：国庫補助事業による松くい虫被害木の伐倒・処理等の実施



被害木の代倒

ゴールデンウィーク 窓口対応は

赤塚 英一 委員

〔問〕 31年はゴールデンウィークが10連休となるが、窓口業務はどのようにするのか。

窓口が10日間閉じることで住民サービスが低下することのないように十分な検討と対応を願う。

総務課長

〔答〕 国民の祝日に関する法律改正がなされた後に、町条例の規定に則って対応することになる。

役場庁舎や各施設の窓口業務をはじめ、ライフラインのリスク管理など緊急連絡体制などをしっかり準備していかなければならない。

住民生活に支障が生じないよう総合調整を図っていく。

一般質問 7議員登壇

12月4日・5日

町の事業と課題を問う!

社会科授業の一環で見学に訪れました。



吹浦小学校 6年生



高瀬小学校 6年生

【一般質問とは】

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

一般質問通告の要旨

- ◎ 記事掲載あり
- 記事掲載なし
- (通告順)

高橋 冠治 議員 …… P 8

◎ 水稲減収に対する町の対応は

○ 悔いの残らぬ庁舎建設を

松永 裕美 議員 …… P 8

◎ 高齢者の消費者問題対策について

○ 当町の介護・医療体制の充実について

○ 移住・定住促進について

筒井 義昭 議員 …… P 9

◎ 来訪神「アマハゲ」行事の保存・継承への取り組みは

○ 町立学校適正審議会中間答申後の町民に向けた説明は

阿部 満吉 議員 …… P 9

◎ 新庁舎周辺整備のグラウンドデザインは

菅原 和幸 議員 …… P 10

◎ 人事行政運営状況について

○ 新庁舎の基本設計について

斎藤 弥志夫 議員 …… P 10

○ プールの安全管理

○ 広報の配布の連携

◎ 若者住宅建設はPFI事業で

齋藤 武 議員 …… P 11

○ 役場職員不祥事にどう向き合うのか

◎ 新庁舎建設は合意形成の下、禍根を残さぬよう進めるべきでは

ここが聞きたい

共済対象外農家への対応は



高橋 冠治 議員

町長

共済の特例措置を要望

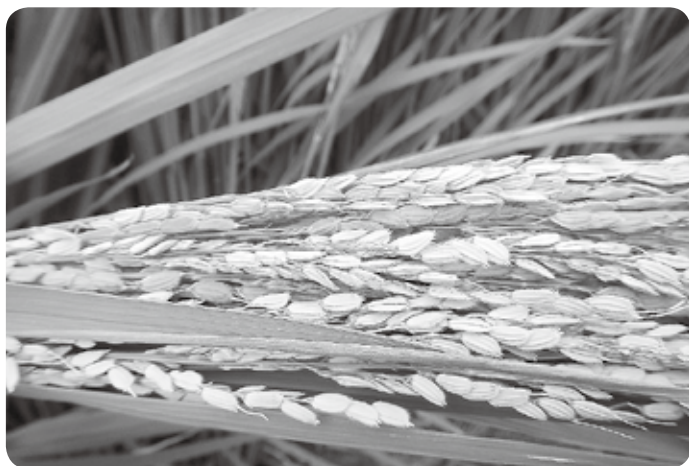
問 今年の稲作は熱風による白穂被害や大雨、度重なる台風の影響で大幅な収量減になった。本来、減収補填するため水稲共済制度があるが、当初、県は作況指数102の

「やや良」と発表したため、多くの農家では水稲共済へ被害申告はしなかった。減収が少ない農家が多数いる。共同乾燥施設利用者や農業法人組合員は事後対

応できるが、個人で乾燥調製し出荷している農家は大規模経営が多く影響はさらに大きくなる。農家所得の大幅な減少は地域経済を疲弊させる。町の対応は。

町長 8月上旬に白穂被害が発生したが、減収は全町にわたっていることが明らかになった。減収が刈取り後に判明したため、共済に申請できず農家収入を直撃する事態となっている。大変危険している。

白穂被害状況



対策として県は、経営資金を無利子で融資する「山形県農林漁業天災対策資金」制度を創設した。また、庄内みどり農協が県の制度を拡充した内容で、貸付限度額も大きい「平成30年異常気象農作物被害対策資金」を創設した。町としても利子補給を考えている。国が今回の不作について共済の特例措置を検討している。町は、実現に向けて強く要望をしていきたい。

警告メッセージ機能付き
通話録音機 無料で貸出します

振り込め詐欺や悪質商法の勧誘などの迷惑電話に不安を感じませんか？

通話録音機がブロック！

- 電話をかけた相手に警告メッセージ
- 高音質で怪しい電話内容を自動録音

高齢者の消費者問題対策は



松永 裕美 議員

町長

啓発チラシの配布と出前講座を開設

問 一人暮らしの高齢者を標的にした悪質商法販売・勧誘等の固定電話を使ったトラブルの相談状況は。

町長 機能付き録音機を、酒田警察署生活安全課で数台無料貸出し先を精査した上で町民にも貸出している。防犯対策としては有効だと聞いている。

水面下で発生しており表面には出にくい問題ではあるが、町民の安心・安全な暮らしを守るために町の対策は。

町長 30年度、現在までに町に寄せられた消費者相談は、架空請求と請求トラブル等併せて7件である。

依然として、「オレオレ詐欺」等の特殊詐欺の報道を見かけるが、近年インターネット接続回線関係の勧誘電話が頻繁にかかってくるというケースも多いと聞いている。町では、県消費者生活センターと連携しながら相談窓口を設置しているほか、啓発チラシの配布や出前講座の開設等に努めている。

固定電話の通話録音機については、対策として有効な手段と考えている。現在、県から貸与された通話録音機が町に1台あり、貸出が可能なので活用していただきたい。

「アマハゲ」の継承と町の役割は



筒井 義昭 議員

町長

地区住民と連携し

「アマハゲ」を保存伝承

圓 11月29日に遊佐の小正月行事「アマハゲ」来訪神・仮面・仮装の神々として、ユネスコ世界無形文化遺産への登録が決した。

また神事斎行に支障をきたすことのないような形で、体験・見学の場の創設を地域と連携の上、

「アマハゲ」の保存継承への支援の強化が求められている。

検討がなされるべきと考える。

今回の登録を受け、企画展示や講演会の開催による、3集落の「アマハゲ」の違いや希少性を発信し、学ぶことにより、文化遺産としての深化をはかることは重要と考える。

町長 ユネスコ無形文化遺産登録により、世界的にも貴重な文化遺産と認められ、これまで以上の支援を地区住民と共に強化していく必要がある。

また31年の「アマハゲ」行事は、例年を超える訪問者が予想されるため、町職員が随行・待機し、マスコミ等の対応にあたることとするが、集落公民館での「アマハゲ」斎行が可能であるかは、今後地元保存会と検討していく。

地域住民と登録の慶びを分かち合うと共に、企画展示や講演会を行いながら、地元住民への周知を図っていきたい。



わり子はいねがー いねよー



街並みのゾーニングを

緑に囲まれた新庁舎に



阿部 満吉 議員

町長

緑地帯は新庁舎の

周辺整備にあわせ検討

圓 現庁舎の東側に新しい役場庁舎が建設されれば、この地域は一変する。

るためにも、街路樹などの緑地帯が必要だ。

すでに子どもセンター、体育館や生涯学習センターがあり、その間に若者向け住宅も計画されている。公共施設のゾーンと住宅ゾーンはすみ分け

さらに、周辺には施設ごとに駐車場があり、まちなか駐車場もある上、旧庁舎解体後は駐車場との計画があり、駐車場だらけで緑が少ない。

遊佐元町地内は、町道

がジグザグで主要施設へのアクセスが悪い。町道の区画整理とあわせ、緑に囲まれた新庁舎にしては。

町長 新庁舎建設予定地の南側に、新しい道路を整備し、新庁舎へのアクセス道路とすることが予定されている。また、新庁舎南側に造成された若者住宅地に住居が建ち並び、子育て世代の若い夫婦や子どもたちが住まいることで、遊佐町の明るい将来が展望できる地域になってくれることを期待している。

街路樹や緑地帯の整備は、近くに遊佐中央公園が配置されていることや一部街路樹も植栽されていることから、今後、新庁舎の周辺整備計画にあわせ検討したい。

旧庁舎解体後の跡地利用は、現在の役場東側駐車場の代替として、公用車及び職員駐車場に利用する予定である。

未来を担う職員の採用計画は



菅原 和幸
議員

町長

「定員適正化計画」策定を

足掛かりに

図 地方公務員法と条例の規定により、毎年11月発行の広報で「人事行政の運営状況」が公表される。

この6年間の人件費は、各年度12億から12億6千万円の間で推移しており、「良好」な状況にある。

大卒採用者の初任給は据置きが続いていたが増額に転じ、この3年間で約1万円増となっている。29年度決算での「財政健全化審査意見書」によれば、本町の財政状況は、

今後の5年間で職員の約1割が60歳になる状況のなかで、職員の再任用計画を含めた、今後の職員体制の在り方は。

町長 本町では、類似団体との比較や、財政面での人件費率、将来的な住民人口に相対する適正な職員数と、職員の業務量等の検討を行いながら定員管理を行ってきた。

30年4月現在、一般行政職137人、技能労務職16人、合計153人中、再任用職員は一般行政職2人、技能労務職1人、合計3人となっている。

30年度中に、「定員適正化計画」策定の予定だが、将来の人口推移を考慮した上で、人口減少に伴う職員数や行政サービスの維持向上という観点から、数値目標を設定することになる。

今後行われる定年引き上げに伴う制度改正や、事務事業や組織機構の見直し等にも対応しながら、新規採用と再任用を適切に行っていくたい。

図 PFIとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力、技術を活用して行う手法である。PFI事業は地方自治体が低廉で良質な公共サービスを



斎藤 弥志夫
議員

町長

「民設民営」で整備を図る

若者定住賃貸住宅の建築はPFIで



地域活性化のカギを握るPFI活用

町の若者用住宅の建築を計画してきたが、坪単価が高く、計画の練り直しを迫られている。従来の手法ではなく、民間のノウハウと資金を活用することができるとPFI方式で住宅を建設するののも一つの方法である。

町長 これまでは、メゾネットタイプのアパート2棟、8世帯分を建設する計画で進めてきた。しかし、建設費が、坪単価に換算すると116万6千円となり、当初の予算額をはるかに超える金額となることが分かった。

建設コストが民間との比較でも2倍を超える水準であることから、若者定住住宅の建設については、「民間活力賃貸住宅建築促進事業」を活用し、整備が民間、管理運営も民間の「民設民営」による「定期借地権方式」の事業形態として整備を図りたい。

提供するもので、初期投資が少なく済む。事業者が行い、財政支出の平準化と事業コストの削減が図られるとされる。町ではメゾネットタイ



人事行政運営状況 (30年11月号 広報ゆざ)

合意形成のもと 遊佐らしい新庁舎を



武 齋藤 議員

町長

きめ細かな意見聴取と

反映を基本に

圃 役場新庁舎建設事業は国の制度との関係上、時間に余裕がない中で基本設計策定段階に入り、慌ただしくなっている。一方、限られた建設費の中で創意工夫をこらし、

をおろそかにして事業を進めれば禍根が残る。合意形成を旨とし、未永く親しまれる新庁舎を強く望む。

町民や来庁者との関係性を大切にし、いかに庁舎建物自体で遊佐らしさを表現するのか、ということも大事な視点だと考える。いずれにせよ合意形成

をこれまで3回実施し、ヒアリングで出された意見をもとに修正を加える作業を繰り返し、合意形成を図りながら基本設計を進めてきた。

職員ヒアリングで出された意見としては、執務空間や職員休憩室の在り方、窓口での接客上考慮すべき点などがある。

これまでの意見を整理し、反映可能なものについては基本設計、実施設計、建設工事の各段階で反映させていきたいと考えている。



新庁舎予定地の地質調査

にかほ市・遊佐町 広域観光部会報告

1月16日

新・道の駅と

「ジャパンエコトラック」

講師：森 康彰氏

トレッキング・カヤック・自転車といった人力による移動手段で、日本各地の豊かで多様な自然を体感し、地域の歴史や文化、人々との交流を楽しみながら、旅をする。そんな新しい旅のスタイルが「ジャパンエコトラック」です。（モンベルHPより）



農業が元気だから

引き立つ鳥海山

キーワードとなるのは「鳥海山とその恵みを受けた田園風景」。

我々、住んでいると気づかないが、都会暮らしや海外からの旅行者にとって、なんとも癒される風景なのだという。

鳥海山はそれだけで美しいが、四季折々の色を成す田んぼにその姿が重なれば、美しさは格段に引き立つ。主産業の農業が元気であり続けるよう守ることは、地域を守り、観光の資源となるのだと訴える。



森 康彰氏：日本山岳ガイド協会山岳ガイドスティーجII・鳥海山飛鳥島ジオパークガイド・遊佐町総合交流促進施設(株)取締役常務

一般質問

Q & A

ここが聞きたい



ここがききたい 町民と議会の懇談会

第8回目

11月17日、役場・稲川まちづくりセンター・高瀬まちづくりセンターにて開催

※詳しくは議会HPまたは各町づくりセンターと図書館に資料があります。

政策提言

○ 介護や医療環境の提言がないのでは。

○ 福祉タクシーやデマンドタクシーの利便性の向上と、市町を超えた広域交通体系の構築を組み込みました。

○ 町の人口減少対策は、若者の移住、子育て、介護に力を入れています。

○ 見守り、寄り添い、支え合いの具体策は。

○ エプロンサービスのよりに地域の絆を深めて、コミュニティを保つことが重要と考えます。

○ 若者の結婚相談所の動きはどうなのか。

○ 「なかどクラブ」が対応してきた経過があります。地域おこし協力隊による婚活パーティ企画にも期待しています。

○ 高速道路促進はライフラインの確保にもつながる。早く完成するよう、行政だけに任せず、力を

合わせて国・県に要請を。
○ 4県合同の陳情会に参加しており、議会内でも同様の意見があります。

○ 東回り県道の整備は、30年近く放置されており、環境的に悪い状況にある。道路整備を進めることで周辺施設の観光面にもつながるのでは。

○ 当時の期成同盟会が存在しており、活動を再開すべく、高瀬、吹浦地区で動きがあります。

新庁舎に望むこと

○ 新庁舎は、利便性を考え一体化したつくりにする。
○ 議会からも提案します。

○ プロポーザル応募事業者を地域に限定したわけは。

○ 町によれば、遊佐の気象や地質条件等を熟知し設計に反映できることや、工事の打ち合わせ、工事管理が容易なためです。

○ 地盤が軟弱というが、既に建設されている体育館・生涯学習センター・図書館・子どもセンターは参考にならないのか。ボーリングデータの調査を。

○ データを見る限り軟弱です。なお現地をボーリング調査中です。

○ 新庁舎の議場の在り方はどうか。傍聴席でもメモできる作りに。

○ 多目的に使用できる議場で検討しています。傍聴席は参考にさせていただきます。

○ 大きな災害時、役場は対策本部になる。警察や消防車両での混雑を考えると、現庁舎の東側は適地でないと考えるが。

○ 検討委員会答申で、3カ所の候補地の中から、来庁者の動線も考慮し決定されました。

○ 危機管理係は新庁舎に移るようだが、防災センターの活用は。旧庁舎跡地は駐車場と

聞くが、周りに駐車場は多い。憩いの場としての公園をのぞむ。

○ 町によれば、防災センターには教育課、健康支援係と町民のデータとプライバシーを守り保管する電算部門が残ります。本庁舎を含めた来庁者と、職員及び公用車の駐車スペースが必要です。

意見

・ 庁舎建設の説明会は高齢者の参加しづらい夜間の開催。高齢者の意見を聞く機会も。

・ 建設費20億円の内2割程度の補助。残り16億円の返済計画や財政計画の説明を。

教育環境

○ 登校時の見まもりは学校教師の負担が大きい。ボランティアで支援を。

○ 校長と教頭の2名（遊佐小）が担当しており当面支障ないとのこと。ただ、見まもり隊員が高齢化などで減少傾向にあるのが課題でした。



問 遊佐高の交通費支援は、町外からの生徒向け。町内の遊佐高以外の生徒への支援も。

答 今後の課題と考えます。

子どもたちを守る

問 子どもたちのアレルギー食の調査はしていると思うが、災害時備蓄食料に、アレルギー対処の食料はあるのか。

答 保育園や各学校での給食では、アレルギーに対応しています。備蓄食料は3品目あり、内2品目はアレルギーフリーの食品でした。

問 公園に幼児用の飲料水施設を。小さい子どもは使いづらい。

答 現状を見て所管に改善を求めていきます。

町によれば、稲川の鳥海パノラマパークの水飲み施設は、小さい子どもを念頭に設置。他の施設で不都合があれば改善したいと思います。

問 総合運動公園の遊具に、事故防止喚起の看板が必要では。

答 町によれば、看板作成し、設置予定です。

問 高速道路工事車両の往来が多く、小学校の下校時では通学路を通っており危ない。作業道を通るべきであると考えるが。

答 町の担当課を通し、関係機関に対応を求めていきます。

若者向け住宅

問 新庁舎建設のために廃止するのであれば、若者の将来にとって大変なことである。

問 当初計画を変更し、新庁舎南側に建設を予定していました。

答 ボーリング調査を行ったところ、地盤の改良に多額の費用を要することから、再検討したい旨、議会に説明がありました。(12月議会で民間活力による建設が提案され議決しました。)

問 世代間近居型住宅は、若者のニーズに逆行してないのか。

答 空き家を増やさない対策として提言します。

意見 若者定住住宅は、場所の選定を含めて疑問をもっている。議論の経過を町民に説明すべきである。

岩石採取

問 岩石採取裁判の状況と、今後の行方を公開して欲しい。

答 裁判は長期化しそうです。地下水脈の継続した調査が必要であり、採石地の地盤3D映像にも

期待しています。情報公開は常に要望しています。

問 臂曲の岩石採取の現状は。

答 岩石採取には町民挙げて反対の姿勢を貫徹します。県でも不認可としています。

ただ、裁判の結末となると不透明です。

地域の課題

問 十里塚地内の砂運搬の大型ダンンプ対策。事前の話合いと説明がない。

答 工事関連事業の説明会にあつては、町を通して早目の周知徹底を県に求めていきます。

問 キノコ工場の増設について、異臭臭気の対策を。

答 近隣集落を含めた地域課題とし、業者とも解決策を模索していきます。その後の状況 業者と協議の上、増設計画は一旦中止し、対策を協議中のようです。

問 西遊佐地区の都市計画調整区域の見直しは限定的では。

答 酒田都市計画西遊佐区域計画の変更により、集落およびその周辺については緩和されましたが、全体の撤廃は難しいようです。

問 青葉台公園のフェンスは、高さが80cm、転落の恐れがあるので改善を。

答 現状を見て所管に改善を求めていきます。

町によれば、設置時に圧迫感を考慮して80cmとしたものです。かさ上げも検討することです。

問 エプロンサービスの理念は地域密着型の奉仕活動である。現在の利用者11人、サポーター36人であるが、これからも増やす予定である。更なる支援を。

答 エプロンサービスなどへの運営経費が30年度より予算化されました。これからも協力していきます。

問 水道事業を民間に委託するのは危険ではないか。

答 民間委託の予定はないようです。

問 稲川まちづくりセンターの音響が良くない。

答 町によれば、土間アリーナを使用して会議・イベントの場合に現状の音響設備では対応できないと聞いております。どのような設備が必要か、施設利用者と協議し検討します。



稲川まちづくりセンター アリーナ

町民の声を議会へ

問 松くい虫被害など森林所有者は山の管理が大変である。議会としての対応は。

答 毎年、森林ボランティア等に各議員が参加し、協力しています。

問 西遊佐まちづくりセンターの外壁にキツツキが穴を開けるが。

答 町によれば、西側の外壁で数カ所被害を受けています。施工業者等と対策について検討します。

問 旧西遊佐まちづくりセンターを早く解体してもらいたい。

答 早期解体を町に求めていきます。

問 漁村センターで町が行っているあわび養殖事業の現状と今後の計画は。

答 あわびの陸上養殖は3年が経過し、現在は順調のようです。常時2万個の養殖を想定した事業展開を計画しており、施設建設が31〜32年度に予定されています。



問 中山の桜は、議会で取り上げられたように、新天皇即位にあわせ、更新を対応していただきたい。

答 次世代の人々にどう残すか、県などと協議し検討するとしています。

問 町の事業ではないが、国道345号線の張り出し歩道が現在利用禁止となっている。

海岸の素晴らしい景観

を眺めることができないのは問題だと考える。

答 県が対応をはじめてくれたと理解しています。早期の完成を願っています。

問 高速道路が完成した後、西浜地区の買い物場の将来に不安を感じている。

答 遊佐パーキングエリアが完成すれば規模の縮小は想定されますが、機能として残すことは考えているようです。意見として承ります。

問 丸子橋の調査を行ったが現在まで説明がない。現状については。

答 現場の修復で対応すると理解をしています。

問 小山崎遺跡は湿地にあり、遺構などが腐らず、貴重な縄文の遺跡である。ジオパーク、胴腹滝等を含めた観光の一つにもなるであろう。丸子のインターからの路線整備を含めよろしく願いたい。

答 丸池様や牛渡川へ観光バスが多く訪れることから、小山崎遺跡を含めた安全対策も必要ではないかと考えます。ただし、国定公園の地域であり課題もあります。

問 遊佐町には3つのグラウンドゴルフ場がある。遊ぼつとはコース的にみて好評ではないとの意見が多い。本町にも日本グラウンドゴルフ協会が認定するようなコースもあっていいのではないか。



利用者の協力で良いコースを

答 日本グラウンドゴルフ協会には、砂地ではないけないとか、人工芝でないとかの規定はないようです。管理体制はしっかりとしなければならぬと考えます。

議会に質問・意見

問 29年9月に議会活性化推進特別委員会が設置されたようである。今までの会議の状況は。

答 政策提言、ジオパーク、遊佐パーキングエリアについて検討しています。

問 議員報酬の増額は、金額的に理解できない。政務活動費の導入であれば理解するが。

答 報酬については、報酬等審議会で検討されています。政務活動費の導入は考えていません。

問 現状の定数12はどう検証したのか。

答 定数減により、議員の負担は増えています。

これより定数を少なくすることはできないと思います。

問 懇談会の告知の仕方はこれでよかったか。

答 広報への折込み等のほか、区長さんを通じ、機会あるごとに来ていただくようお願いしました。今回は3カ所にするのと、各地区とも参加者が増え、一定の効果はあったと思います。

意見

・一般質問や委員会質問は、十分調査の上、場合によっては事後調査も必要。

・懇談会が11月では、新年度予算編成に間に合わない。開催時期の前倒しを。

・町民の意見聴取を、議会の調査事項として予算化し、裏付け調査に。

12月定例会の審議結果

一般会計補正予算他14件

議案番号	議案名	内容	審議結果
議第65号	30年度遊佐町一般会計補正予算(第3号)	小・中学校にエアコン設置などで2億7100万円を追加	全員賛成で可決
議第66号	30年度遊佐町国民健康保険会計補正予算(第2号)	高額医療費の増額などで270万円を追加	全員賛成で可決
議第67号	30年度遊佐町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	電気料の増額などで180万円を追加	全員賛成で可決
議第68号	30年度遊佐町地域集落排水事業会計補正予算(第1号)	退職手当組合負担金で3万円を追加	全員賛成で可決
議第69号	30年度遊佐町介護保険会計補正予算(第3号)	介護給付費の増額などで460万円を追加	全員賛成で可決
議第70号	30年度遊佐町後期高齢者医療会計補正予算(第1号)	一般会計への繰出しで520万円を追加	全員賛成で可決
議第71号	30年度遊佐町水道事業会計補正予算(第3号)	修繕件数の増などで470万円を追加	全員賛成で可決
議第72号	遊佐町税条例の一部改正	固定資産税、都市計画税の第1期の納期に関する改正	全員賛成で可決
議第73号	一般職の給与に関する条例の一部改正	一般職の職員の給与を一部改正	全員賛成で可決
議第74号	特別職の給与に関する条例の一部改正	町長、副町長は31年1月から3ヵ月間 議長、副議長は1ヵ月間、報酬を減額	賛成多数で可決
議第75号	町道路線の認定	舞鶴地内の宅地造成にともない 町道2路線を新設	全員賛成で可決
議第76号	遊佐町教育委員会委員の任命	任期満了となる、渡邊宗谷氏を再任	全員賛成で同意
議第77号	30年度橋梁長寿命化修繕工事請負契約の一部変更	西浜橋の修繕工事の増額で3152万円を追加	賛成多数で可決
請願第1号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める請願	インターネットを利用した「ライドシェア」の導入に反対し、安全・安心なタクシーを国に求める	継続審査
発議第5号	まちづくり政策提言の提出	P2~3に提言を掲載	全員賛成で可決

12月定例会の傍聴者数

(単位：人)

日程	内容	男	女	計
12月4日(火)	本会議・一般質問	26	17	43
12月5日(水)	一般質問・補正予算上程	15	5	20
12月7日(金)	補正予算特別委員会・本会議	2	1	3
計		43	23	66



表紙の写真 書き初め(遊佐小学校)

新春恒例の書き初め。3年生以上は、墨と筆を持って体育館に広がる。正月休み中の練習の成果か。石垣陽路君と齋藤桃果さん。3年生を代表して遊佐町小学校書き初め展に出品。他の小学校はどんな作品がでてくるかな。

新庁舎に望む

庁舎建設特別委員会の提案



✓ ゆざの特色を活かした庁舎

鳥海山を眺望



2階建ても



自然の光と風を感じる



木のぬくもり



自由に交流できる広さ

木のぬくもりを感じる交流プラザ（住田町庁舎）

✓ 町民の拠点としての庁舎

キッズコーナー



来庁者の利便性



玄関フロアに
特産品展示販売
まるごと遊佐を

職員にも
快適な環境



災害時には
対策本部



エントランスに地域のコーナー（五所川原市庁舎）

✓ 使いやすい議場・会議室

多目的に使える
広さと配置



映像・音響設備も
多目的な使用に配慮



プロジェクター常備 壁はスクリーン（遠野市庁舎）

提案にあたって2班にわかれて先進地を視察した。

※文中の人口はHPによる。

住田町庁舎
(岩手県)

人口 5,706 人
26 年 9 月開庁
木造 2 階建
延床面積 2,883㎡

**木のぬくもりが
癒しの空間に**

◆**市民ホール・交流プラザ**
住民に親しまれ、防災の要となる「交流プラザ」の杉の大木は圧巻。



◆**自然エネルギーの活用**
環境省の補助事業を活用し、地中熱ヒートポンプ設備を導入。
◆**多目的議場**
利用しやすいホール型で29年度の利用は193日（内議会33日）。会議や式典等での利用が多いとのこと。

八峰町庁舎
(秋田県)

人口 7,238 人
21 年 9 月開庁
木造 2 階建
延床面積 2,098㎡

**身の丈にあった
コンパクトな庁舎**

◆**特徴ある建築構造**
庁舎中央部にトイレ・書庫等を集約し建物の強度を増すコアの役割を持たせている。
◆**木質バイオマスを活用**
地域に豊富な木材を活用した「木質バイオマス」を冷暖房に利用。



木材造のため、屋根のトラス梁やラチス耐力壁が目を引く。躯体・内装・カウンター等、至る所に木材を利用、「森林業日本一」を目指す町。木のぬくもりが癒しの空間となっている。
◆**木質バイオマスを活用**
地域に豊富な木材を活用した「木質バイオマス」を冷暖房に利用。

《**視察をおえて**》

両庁舎とも、地域性を活かした庁舎建設であることが新鮮。
遊佐の地域性・風土・自然・産業が訪れるだけで感じとれる庁舎をコンセプトに置くべきと思う。
交流・子育て・お年寄りや障がい者に配慮し、利用者満足度につながる新庁舎にした。

◆**広いエントランス**
市民の広場的なフロアは多目的に使いそう。受付の窓口エリアは、椅子とテーブル設置で打ち合わせも可能。

五所川原市庁舎
(青森県)

人口 54,786 人
30 年 5 月開庁
RC3 階建
延床面積 9,480㎡

**来庁者を意識した
レイアウト**

◆**北国ならではの工夫**
環境省の補助を受け庁舎の空調と、駐車場の無散水融雪に地中熱を活用している。



◆**木質バイオマスを活用**
管内の豊富な木質ペレットを用いた冷暖房システムを採用している。
◆**四角い建物**
景観に配慮し、建設費用を抑えるためシンプルな四角い建物に。会議室は避難所機能を兼ね備え、床は柔らかい床材を使用。調理室を隣接している。

中泊町庁舎
(青森県)

人口 11,178 人
29 年 1 月開庁
RC2 階建
延床面積 4,239㎡

**機能重視
シンプルデザイン**

◆**市民の声を活かした庁舎**
職員だけでなく、市民も活用できる庁舎をめざし、一般市民のほか高校生を含めたワークショップ方式で検討。
◆**入口フロアを活用**
1階エントランスには「多目的市民ホール」を広く設けている。特産品の物販や展示に。選挙時にはここを仕切ることによって投票所としても使用。

遠野市庁舎
(岩手県)

人口 27,161 人
29 年 9 月開庁
3 階建 (2 棟連結一部商業施設「とびあ」と合築)
延床面積 5,124㎡

**商業施設と合体
立ち寄りやすい庁舎**



◆**市民の声を活かした庁舎**
職員だけでなく、市民も活用できる庁舎をめざし、一般市民のほか高校生を含めたワークショップ方式で検討。
◆**入口フロアを活用**
1階エントランスには「多目的市民ホール」を広く設けている。特産品の物販や展示に。選挙時にはここを仕切ることによって投票所としても使用。

《**視察をおえて**》

いずれの庁舎も災害時の対応を強く意識した構造で、自然エネルギーも活かされている。
住民が自由に使えるスペースを広く設け、来庁者との関係性の重視も見逃せない。

議会を傍聴してみませんか

3月定例議会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。
 3月定例議会は、本会議と補正予算・予算審査特別委員会が議場で行われます。
 一度傍聴してみませんか？

3月定例議会の予定

- 3月 5日(火) 本会議・常任委員会
- 3月 6日(水) 補正予算審査特別委員会・施政方針
- 3月 7日(木) 一般質問
- 3月 8日(金) 一般質問・予算上程
- 3月 11日(月) 常任委員会
- 3月 12日(火) 常任委員会
- 3月 14日(木) 予算審査特別委員会
- 3月 15日(金) 予算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局 (Tel72-5889) にご確認ください。

堀 満 弥 前議長を悼んで

一月十五日 堀満弥前議長の突然の逝去の知らせは 全議員にとつて驚きを隠せない悲報でありました
 平成十一年初当選以来 五期二十年にわたり 議会の発展に尽力され 体調を崩し議長を退任されてからも 常に遊佐町の未来を思い活動されておりました
 堀前議長のご冥福を
 心からお祈り申し上げます



遊佐町議会

議会クイズ



99

平成30年11月1日142号の議会クイズには46名の方の応募があり、45名の方が正解でした。
 抽選の結果次の10名の方が当選し、あぼん入浴券(3枚)をお届けします。

答え ①B ②A ③B (敬称略)

- 齋藤悦子(和田)
- 齋藤陸男(和田)
- 佐藤誠子(下当)
- 石倉正樹(西谷地)
- 渡部幸子(中藤崎)
- 佐藤正(下当)
- 池田智也(旭ヶ丘)
- 佐藤勝雄(下当)
- 伊藤ツエ(六日町)
- 石垣広(服部)

②今定例会の傍聴にきてくれた学校は？
 A 高瀬小学校と
 B 吹浦小学校と
 C 遊佐中学校と
 D 遊佐小学校と
 E 藤崎小学校と

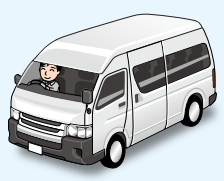
③西遊佐まちづくりセンターの外壁に穴を開けた動物は？
 A キツツキ
 B ハクビシン
 C ムササビ

応募方法

ハガキに答えの記号(例①A ②B ③C)それに住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。
 (ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません)

ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

問題 ①デマンドタクシーの利用者は1日平均何人か？



- A 30人
- B 45人
- C 55人

☆
 あて先/999-8301
 遊佐町遊佐字舞鶴211
 役場内 議会事務局
 締め切り2月25日
 発表は次号です。

編集室より

めったに雪の降らない街から小さな孫たちが帰省してきそり遊びもできない幼い子どもたちだが、雪だるまを作ってはしゃいでいる。子どもにとって雪は特別だ。
 暖冬と予想され、鳥海山を眺めても、例年より雪は少ない。温暖化は異常気象と背中合わせ。
 来週は「二ノ滝氷柱探訪」ちゃんと氷になって、待って



- 発行人 土門 治明
 議長 阿部 満吉
 議会広報常任委員会
 委員長 齋藤 満吉
 副委員長 齋藤 武
 委員 齋藤 志夫
 委員 齋藤 智則
 委員 赤塚 英一
 委員 松永 裕美

12月の選挙管理委員会で選挙日程が次のとおり決定しました。
告示/平成31年6月11日 投開票/平成31年6月16日